

平成21年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

| | | | |
|-----------------------------------|--|----------|---------|
| 整理番号 | 21-13 | 高知県 | |
| メニューの内容 | 省人型施設機能整備 | (施設名) | 燃油等補給施設 |
| 事業実施主体 | すくも湾漁業協同組合 | | |
| 評価期間 | 平成22年度～24年度 | | |
| 事業費 | 5,177 千円 | | |
| 交付金額 | 2,465 千円 | | |
| 成果目標 | 3年間の総便益 | 2,449 千円 | |
| 実績値 | 3年間の総便益 | 3,083 千円 | |
| 成果目標の達成率 | 125.9 % | | |
| 事業の目的 | 安定した漁業生産活動に資するため、昭和53年に漁業用補給施設が整備され、以後、地元漁業者に対し安定的な燃油供給を行ってきた。20年度には年間延利用隻数320隻。延べ利用回数543回で供給量は428,630ℓとなっている。しかしながら陸上施設である給油機については整備後30年が経過しており老朽化が進んでいる。又、漁協経営の合理化から給油作業に係る職員の負担軽減が求められ、今後安定的な供給体制を維持する事が難しくなっている。この状況を改善するため、今回漁業用補給施設の給油機器の更新をすることにより、あわせて自動給油(カード化)とすることによる省人化を図り、安全で円滑な供給体制を構築し、漁業活動への影響を低減する。 | | |
| 事業の成果 | 給油機器の更新により、安全で円滑な燃油供給体制が構築され、給油に係る漁労就労時間の短縮等により、安全で効率的な漁業活動を図ることができるようになった。また、カード管理機の設置により、漁協職員の燃油販売業務にかかる省人化が図られ、様々な漁業活動支援を行うことが可能となり、漁家経営の安定に寄与することができるようになった。 | | |
| その他特筆すべき事項 | | | |
| 成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策 | | | |
| 備考 | | | |